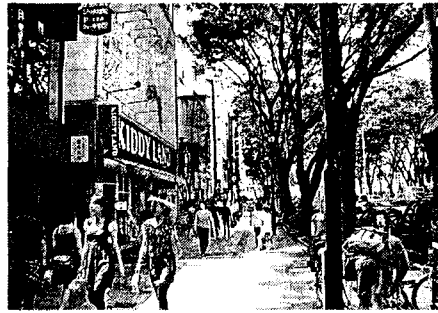


中国人観光客 歓迎します

会櫛道参表宿原



物買ながら歩き並木を愉しめる
PRする雰囲気を

原宿・表参道地区で最大の商店街組織、原宿表参道櫛(けやき)会(東京・渋谷、松井誠一理事長)は今秋から中国の旅行会社向けの営業活動を始め、中国の富裕層を対象に日本への個人旅行ヒザ(査証)が解禁されたのに合わせ、専門のPR会社を通じて、北京周辺の旅行会社にツアーに組み込むよう働きかける。積極的な招致活動により知名度を勝る銀座に対抗、中国人観光客の争奪で打ち勝とうとしている。

現地旅行会社に営業活動

銀座に対抗 魅力PR

今秋までに中国語のPR用パンフレットをまとめる。ネット広告やPR事業に携わるネットプロ

ンティア(東京・新宿)に委託、月10社程度に訪問営業してもらう。営業期間は当面3カ月の予定。効果を見ながら継続を検討する。

日本で買い物を楽しむ中国人観光客の間では、有名ブランド店の集積地として銀座の方が知名度が高い。櫛会は原宿・表参道地区のけやき並木を歩きながら買い物ゆっくりに楽しめる魅力や、大規模店舗だけでなく小さく個性的な衣料・雑貨店などもある特徴をPRする考えだ。

中国の銀行が発行するキャッシュカード「銀聯カード」での支払い対応を進めるほか、中国人旅行者への景品などの配布も検討する。

これまでの団体旅行は日中の旅行会社が組んで、日本側が旅行企画を立て、中国側が参加者を募集する形だった。7月からの個人旅行ヒザ解禁に伴い、基本的にホテルと飛行機のみで自由旅行

にオプションで日帰りツアーなどをつける形が一般的になる。櫛会は今後、中国の旅行会社の観光客向けの情報提供がカギになるとみて、日本の旅行会社を介さずに直接中国側に売り込むことにした。

08年の中国(香港、台湾を除く)からの訪問者数は前年比6%増の100万4000人。09年に入っては景気低迷や新型インフルエンザの影響で一時的に減少しているものの、観光庁は個人旅行の解禁で15万人程度増やす目標

櫛会は会員が約230社、合計約800店舗が参加する原宿・表参道地区の商店街組織。昨年10月には中国語、韓国語、英語3カ国語のホームページを開設、情報の海外発信に力を入れている。

「Tシャツデザイン画100選」

展示会と表彰式開催

子ども王所
八商議

八王子商工会議所などの共催による「Tシャツデザイン画100選」の展示会と優秀作品の表彰式が5日、八王子市の芸術文化会館で開かれた。伝統の絹織物など繊維産業の振興と市民参加型のファッション発信を狙った取り組みで、市民が応募した作品1677点の中から幼児部門や一般部門などの別に計100点を選んだ。



八王子のTシャツは生地や縫製がしっかりした地元製を使い、微妙な色合いを表現できる最新のプリント技術を使っているのが特徴。田辺隆一郎商議所会頭は「しっかりと地場産業を市民に知ってもらい、発信していく機会になれば」と期待を話していた。

町田市 住民票、相互に交付

神奈川・相模原市と 来年4月から

東京都町田市と神奈川

者福祉センターといった

月に着工する予定の市役所新庁舎建設事業の施工者に鹿島を選定したことを明らかにした。総合評価方式を採用した結果、地元事業者の扱いを巡る地域経済への配慮や、周



かぼか 川区が公営足湯

東京都江戸川区にある高層住宅の健康増進施設「くつろぎの家」に区が設置する足湯が「お目見え」した。真。区によると、公営の足湯は東京23区では初めて。湯は東京23区では初めて。清掃工場の余熱約40度のお湯を

映画館でラテン音楽

映画館で楽しみませ葉泉佐倉市ン、ユーカー



イルカ触れあ鴨川シ